

記入上の留意事項

教員の個人調書

戸籍名と本学で使用する氏名が異なる場合（旧姓使用等）は下記のように記入すること。
また、アルファベット表記は本学で使用する氏名について記入すること。

ムサシノ タロウ
(例) 武蔵野 太郎
アリアケ タロウ
(戸籍名：有明 太郎)

(その1)

履 歴 書					
フリガナ 氏 名	ふりがなは「カタカナ」で記入すること。	性別	本 籍 地 又は 国 籍		写 真 1. 縦4cm×横3cm 2. 3 カ月以内に撮影したもの
アルファベット表記					
生年月日(年齢)	西暦 年 月 日 生 (満 歳)				
現 住 所	〒 電 話 <u>携帯電話を所有している場合は必ず記載すること。</u> E-mail				
学 歴					
年 月	事 項				
西暦	・出身高等学校名から記入すること。 ・大学以降については、<u>学歴・学位を漏れなく記入すること。</u> ・博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入すること。 ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記すること。 ・学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても本欄に記入してください。この場合、登録(免許)番号も併記すること。				
保 有 学 位	保有する学位をすべて記入すること。 例：〇〇学士、修士(〇〇学)				
職 歴					
年 月	事 項				
西暦	・すべての職歴(自営業・主婦・無職等を含む。)について記入し、職名、地位等についても明記すること。 ・非常勤講師歴も可能な限り記入すること。 ・各職歴について、在職期間を明確に(「<u>〇年〇月迄</u>」等)し、<u>現職については必ず「現在に至る」と記入すること。</u> ・過去に大学設置・学校法人審議会による大学院教員資格の判定を受けている、または他大学にて大学院教員資格を有する場合は、大学名、保有資格(○合・合・可)を記入すること。				
1996 年 4 月	【記入例】 静岡県立大学大学院国際関係学研究科 専任 教授 アメリカ文化研究 ○合				

学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	提出時に所属する学会の名称を記入すること。
年 月	事 項
加入年月順	(学会活動) 【記入例】 〇〇学会会員(〇〇年〇月まで) 〇〇学会会員(現在に至る) △△学会会員(〇〇年〇月より〇〇年〇月まで 評議員) □□学会会員(〇〇年〇月より現在まで 常務理事)
加入年月順	(社会における活動等) 【記入例】 〇〇学術交流委員会委員(〇〇年〇月まで) △△県□□審議委員(現在まで) 〇〇事業団〇〇モデル事業指導(〇〇年〇〇月) 〇〇省〇〇プロジェクト推進事業(現在に至る)
賞 罰	
年 月	事 項
西暦	学術奨励賞、出版賞、学会賞等があれば、記入すること。 (通常、「賞罰共なし」と記入する例が多い。)
西暦 年 月 日	
氏 名	
印	

上記のとおり相違ありません。

(その2)

教育研究業績書

西曆 年 月 日

氏名 印

研 究 分 野		研 究 内 容 の キーワード	
研究分野の主なものをも3つ以内で記入すること。		研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入すること。	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項			
事 項		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等 (1) (2) (3)		当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入すること。	当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入すること。
2 作成した教科書、教材 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材などの概要（後の「著書、学術論文」との重複も可）。 (1) (2) (3)		同上	同上
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・採用決定の際等における評価内容 ・各大学における自己点検・評価での評価結果 ・学生による授業評価、教員による相互評価等の結果		同上	同上
4 実務の経験を有する者についての特記事項 ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業実習等） ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師、シンポジウム ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載すること。		同上	同上
5 その他 ・大学教育改善に関する団体等での活動での概要 ・教育実績に対する受賞歴 等 ・1～4に該当するもの以外の事項について幅広く記載		同上	同上

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許 取得した資格・免許について記載	当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入すること。	当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入すること。
2 特許等 取得した特許について記載	同上	同上
3 実務の経験を有する者についての特記事項 ・大学との共同研究 ・訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績 ・各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員 ・行政機関における調査官等 ・研究会・ワークショップ等での報告や症例発表 ・調査研究、留学、海外事情調査等 ・上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等	同上	同上
4 その他 ・職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等 ・論文の引用実績等	同上	同上

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
※「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表(予定)のものは記入できません。 ※研究等に関する主要な業績を（著書）（学術論文）（その他）に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付すこと。				
（著書） ・ 書名を記入すること。 （一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著とすること。）	単 共 の略号 で記入 すること。	・ 当該著書等の発行又は発表の年月を記入すること。	・ 発行所名を記入すること。	・ この欄には、論文の概要（200字程度まで）の他に全著者名を含む書誌情報を記載し、応募者には下線、連絡著者には*印を付してください。 ・ 著者が多数にわたる場合には、4人目までを記載し、以下は連絡著者を除いて省略してください。省略する場合には、その員数と応募者が掲載されている順番（○番目）を記載して下さい。
（学術論文） ・ 学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入すること。 ・ 学位論文については、その旨を明記すること。	同上	同上	・ 発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記すること。	・ 上記に準じて記入してください。
（その他） ・ 総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては、当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入すること。 そのほか業績としてふさわしいものを記入すること。 ○ 学術的立場での視聴覚マスメディアへの出演等 ○ 芸術分野の制作、展覧会出品、個展等 ○ 技術分野における設計、制作デザイン等	同上	同上	・ 報告発表等は、学会大会名、開催場所等を明記すること。 ・ 「視聴覚マスメディア」「芸術分野」等については、番組、展覧会の名称及び主催団体を記入すること。	・ 上記に準じて記入してください。